

博士前期課程

モジュール統合科目

建築計画設計統合特論 4単位 Integrated Studies of Architectural Planning and Design

学部のプロジェクトデザインⅢ（卒業研究・制作）をより高度に発展させたプロジェクトへの取り組みであり、各専修科目の教員および外部講師などが、都市・計画・意匠・構造・構法・材料・環境・設備などの建築に関わるさまざまな視点から計画・設計指導をおこなう。前半では、建築を取り巻く社会状況の分析、テーマとなる建築のプログラムづくり、設計コンセプトと空間構成などに重点をおき、チーム作業を通じて建築企画案としてまとめる。後半では、建築企画に対して意匠設計、構造・構法計画、環境・設備計画などの視点から多角的な検討を加え、これらに十分応えられる建築作品を制作する。ここではチームにおける学生同士や担当教員、外部講師などとの対話および共同作業を通じて、社会から共感が得られるような上質な建築計画・設計をおこなう。以上の提案内容を、明快でかつ美しい建築図面や模型で表現し、建築設計計画統合特論の最終成果として公開の場で発表し講評を受ける。

目標：社会が建築に求める課題について、調査・分析・考察を行い、立地条件の特徴を活かした計画コンセプト・施設プログラムを組み立てることができる。また、建築に関わるさまざまな知識や技術を総合化、あるいは応用し、自ら考えた建築企画に対して具体的な建築提案を制作することができる。さらに、協働作業の一員としてプロジェクトを遂行できるコラボレーション能力、広く対話ができるコミュニケーション能力、スケッチや模型などで議論を重ねながら計画・設計をすすめる調整能力を養い、その成果を図面や模型で明快に表現し、論理的かつ魅力的に説明することができる。

建築構造計画統合特論 4単位 Integrated Architectural Studies on Structural Planning and Design

学部のプロジェクトデザインⅢ（卒業研究・制作）をより高度に発展させたプロジェクトへの取り組みであり、各専修科目の教員および外部講師などが、都市・計画・意匠・構造・構法・材料・環境・設備などの建築に関わるさまざまな視点から計画・設計指導を行う。前半では、建築を取り巻く社会状況の分析、テーマとなる建築のプログラムづくり、敷地の立地特性・環境条件、種々の構造形式や建築技術の分析、設計コンセプトに適した建築構造計画などに重点をおき、チーム作業を通じて建築企画案としてまとめる。後半では、建築企画に対して意匠設計、構造・構法計画、環境・設備計画などの視点から多角的な検討を加え、これらに十分応えられる建築作品を制作する。ここではチームにおける学生同士や担当教員、外部講師などとの対話および共同作業を通じて、社会から共感が得られるような上質な建築構造計画・設計を行う。以上の提案内容を、明快でかつ美しい建築図面や模型で表現し、建築構造計画統合特論の最終成果として公開の場で発表し講評を受ける。

目標：社会が建築に求める課題について、調査・分析・考察を行い、立地特性・環境条件を考慮した計画コンセプト・施設プログラムを組み立てることができる。また、建築に関わるさまざまな知識や技術を総合化、あるいは応用し、自ら考えた建築企画に対して具体的な建築構造計画提案資料（図面・模型）を制作することができる。さらに、協働作業の一員としてプロジェクトを遂行できるコラボレーション能力、広く対話ができるコミュニケーション能力、スケッチや模型などで議論を重ねながら計画・設計をすすめる調整能力を養い、その成果を図面や模型で明快に表現し、論理的かつ魅力的に説明することができる。

建築設備計画統合特論 4単位 Integrated Studies of Architectural Facility Planning

学部のプロジェクトデザインⅢ（卒業研究・制作）をより高度に発展させたプロジェクトへの取り組みであり、各専修科目の教員および外部講師などが、都市・計画・意匠・構造・構法・材料・環境・設備などの建築に関わるさまざまな視点から計画・設計指導をおこなう。前半では、建築を取り巻く社会状況の分析、テーマとなる建築のプログラムづくり、敷地の立地特性・環境条件の分析、設計コンセプトと環境・設備計画などに重点をおき、チーム作業を通じて建築企画案としてまとめる。後半では、建築企画に対して意匠設計、構造・構法計画、環境・設備計画などの視点から多角的な検討を加え、これらに十分応えられる建築作品を制作する。ここではチームにおける学生同士や担当教員、外部講師などとの対話および共同作業を通じて、社会から共感が得られるような上質な建築計画・設計をおこなう。以上の提案内容を、明快でかつ美しい建築図面や模型で表現し、建築設備計画統合特論の最終成果として公開の場で発表し講評を受ける。

目標：社会が建築に求める課題について、調査・分析・考察を行い、立地特性・環境条件を考慮した計画コンセプト・施設プログラムを組み立てることができる。また、建築に関わるさまざまな知識や技術を総合化、あるいは応用し、自ら考えた建築企画に対して具体的な環境・設備設計を提案することができる。さらに、協働作業の一員としてプロジェクトを遂行できるコラボレーション能力、広く対話ができるコミュニケーション能力、スケッチや模型などで議論を重ねながら計画・設計をすすめる調整能力を養い、その成果を図面や模型で明快に表現し、論理的かつ魅力的に説明することができる。